

2017年6月19日
全国港湾16発第139号

四役・中央執行委員
各 単組委員長 殿
地区港湾議長(委員長)

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 系 谷 欽一郎



「ヒアリ」に対する注意喚起と対策・情報集約について

1. 環境省は、6月13日に南米原産で毒針がある外来種のアリである「ヒアリ」が国内で確認されたと発表した。これは、神戸港で揚げられたコンテナ内(中国広州からの輸入コンテナ貨物)で発見されたもので、環境省は駆除したとしているが、さらに周辺の調査を進めていると報道されている。
「ヒアリ」は、毒針で刺されると激しい痛みとともに腫れあがり、アレルギー反応による死亡の恐れもあるとされ、環境省は手に触れないように呼び掛けている。
2. 本日開催した四役会議は、環境省も引き続き対応するとしているが、全国港湾としても事態を重大に受け止め、各地区港湾、各単組において、注意と必要な対策を講じることを呼びかける旨を確認した。
については、関係資料を添付するので、各地区港湾・各単組においても、安全を確保する立場から、必要な対策を講じるよう指示する。
3. なお、新たな情報を得次第、対策を検討していくこととするが、各地区港湾・各単組での調査結果や対策などの情報を書記局に報告されるよう要請する。

以上

<添付> 「ヒアリ」関係資料